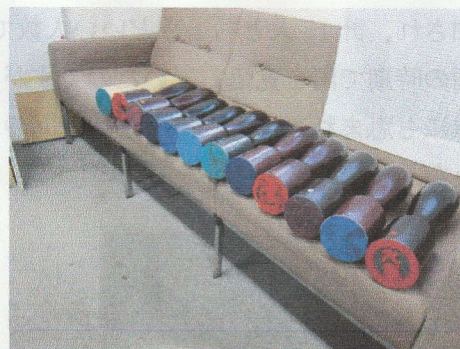


(「うおーくらりー in 日野宿」(第48弾) 本誌

5月12日(日)、昨年に引き続き「うおーくらりー in 日野宿」を開催しました。前日とは打って変わって好天に恵まれ、スタート時間10時には長蛇の列ができ、あっという間にスタンプ帳が無くなってしまいました。特製判子も井上源三郎資料館、大昌寺、宝泉寺、渡邊家の蔵、日野宿本陣の5つが仲間入りして、チェックポイントも13ポイントとなりました。



特製判子 12 本そろい踏み

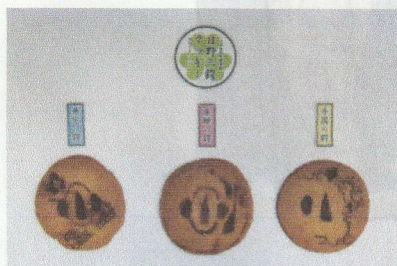


受付のギャラリー&カフェ大屋前

: 受付班 松元・中島



宝泉寺: 担当 加地代表



バージョンアップした特製「日野三銘クッキー」

絵本『ひのっ子日野宿発見』を歩く（第49弾）

平成 23(2011)年 3 月に刊行され、地元の一小、東光寺小、仲田小の新一年生に配布している絵本『ひのっ子日野宿発見』。この絵本に取り上げられた日野宿の見どころの中から、今回は主に中央線の西側にある多摩川鉄橋の煉、日野宮神社の虚空蔵菩薩、東光寺薬師などを訪ねました。大人向けのまち歩き会でしたが、小学生 2 人も保護者の方と参加され、計 15 人とちょうどいい人数でした。梅雨の時期で雨を覚悟していたのですが、運よく天気にも恵まれ心地よい午前中 3 時間のまち歩き会となりました。



日野駅前にて集合 いざ出発！



多摩川鉄橋を支える日野煉瓦



うなぎ伝説を説明してくれた小峯勉さん



虚空蔵菩薩 左右の髪に注目！



昭和 40 年代初頭にこの位置に移設された
東光寺薬師堂と薬師様、日光・月光菩薩様



米の出来高をこの場所で予想したところから
ここを「よそう森」といったそうだ



日野用水上堰一日野駅西側

日野の用水であそぼう！（第50弾）

7月27日（土）、午前9時から12時まで、新東光寺地区センター前の用水で「日野の用水であそぼう！」を開催しました。

講師は今年も鶴田大三郎さん、谷享司さん、井上博司さんの3人をお願いしました。

参加者は子どもが13人のほかに、大人が20人、計33人でした。

前日、用水組合長さんから管理上の面で心配だとのこと指摘をいただいたものの、5回目のこの会を楽しみにしていた子どもたちのために予定通り開催しました。

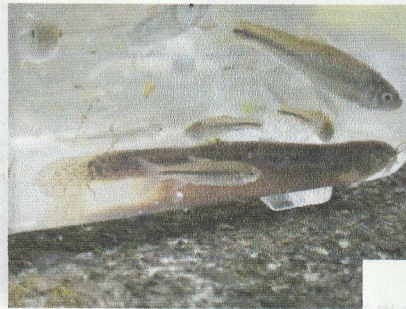
事前に申し込みがあった参加者のほかに、今回は当日飛び入りで5人の子どもたちが参加してくれました。



開会の挨拶の後、早速、鶴田班、井上班の2班に分かれ、田んぼと用水の2か所で生き物さがしを開始。約1時間奮戦しました。

この後、とった生き物を容器に入れ替え、鶴田さんに解説をしてもらいました。

この子たちも含めて子どもたちには参加賞として、日野市制50周年記念特製缶バッジを進呈しました。



ドジョウ

日野は用水のまち。用水組合の方たちの
日頃からのご努力には感謝していますが、
子どもたちにも是非伝えたい大
切な宝物です。

カマツカ



日野宿夏祭り（第51弾）

8月31日（土）、午後3時から日野宿夏祭り、第一部ふれあい子ども横丁（第六回）、
第二部夕涼み会（第七回）を開催しました。

早朝から始めたテント張りの時点から、日差しが強く、開催時刻の午後にはかなり厳し
くなるだろうと危ぶまれましたが、この日を楽しみにしていた子どもたちが元気にやって
きてくれました。

受付で参加賞の日野市市制50周年記念特製バッジを胸につけ早速希望のブースに向かっ
ていきました。



今回のブースには公民館の紹介で初めてバルーンアートが参加してくれました。

その他、郷土資料館の水鉄砲、仲町やよい会のトレ張り紙、団塊世代広場のどんぐりトトロの3ブースとベーゴマまわし。また、郷土資料館から借りた日野一小ゆかりの足踏みオルガンの生演奏（公民館の白川さん演奏）がありました。子どもたちはもちろん、かつて小学校時代に実際に触れていた大人たちにも大変興味深いものでした。

4時半には希望者を募り、大昌寺に時の鐘の体験に向かいました。



一小ゆかりのオルガンを演奏



おなじみのたらし焼き



引き続き、夕方6時から第二部夕涼み会を開催しました。夕立の心配のないのがほんとに何より。助かりました。

オープニングは恒例の日野囃子保存会によるお囃子と舞い。迫力ある演奏と子どもたちのかわいらしい舞いを楽しませてもらいました。7回目を迎えた夕涼み会ですが、子どもたちの成長ぶりに驚かされます。



日野囃子保存会

そして、いよいよ映画会です。

交流館の壁に映し出された撮影当時の記念写真を見ながら、まず佐藤彦五郎新選組資料館館長の佐藤福子さんより、簡単な解説をしていただいたあと、いよいよ「エノケンの近藤勇」の上映となりました。



昭和 10 年に制作されたというこの映像を見ながら、父や母の時代を思い浮かべていたのは報告者だけではなかったのではないのでしょうか。

今回初めて劇映画を上映という企画でしたが、今はやりのロケ地提供がすでに昭和の初めに、ここ日野で行われていたことを皆さんの記憶に留めていただければ幸いです。

なお、新選組ファンの方の参加もあり、じっくり見入る姿が印象的でした。

八坂の祭り写真展（第 52 弾）

9 月 3 日（火）より、八坂神社の玉垣及び南側フェンス、さらに竹間家フェンス、森町消防器具置場の壁面に、明治から平成に至る八坂神社の祭りの写真を展示しました。

玉垣に展示の写真は今回製作した 19 点を含む 25 点。

竹間家フェンス、森町消防器具置場の壁面にはこれまで製作したものの中から、それぞれ 5 点、15 点。計 45 点を展示しました。

なかでも、昭和 30(1955)年の巡行をスタートから宮入まで、全行程を撮影した故志村章氏の写真にはそれぞれの裏面にコメントが記されており、とても貴重な記録となっています。

平成 20(2008)年より始まった写真展示も今年で 6 年目となりましたが、展示にあたり玉垣展示を快くお許しいただいた宮司の土淵眞子さんには大変感謝しております。



森町の消防器具置場

また、古い写真の修整をしてくれている写真家の井上博司さんにはいつもながら感謝感謝です。今年も多くの方に楽しんでいただければ日野宿発見隊としても誠にうれしい限りです。

同日よりギャラリー&カフェ大屋にて 8 日(日)まで、「日野の祭り半纏展」を開催しました。会場では 20 年前のささら流しの映像を流しましたが、竹間さんを初め今は他界された懐かしい顔が何人も登場し、ご家族の皆さんも大変喜ばれていました。

ご来場いただいた皆さま誠にありがとうございました。



ギャラリー&カフェ大屋

日本社会教育学会第 60 回研究大会「地域をつくる学びのネットワーク」にて

『日野宿発見隊』と図書館の地域づくり』を発表

9 月 27 日（金）学芸大学で開催された日本社会教育学会第 60 回研究大会で、事務局より『日野宿発見隊』と図書館の地域づくり』と題して、地域をつくる学びのネットワークの事例として、日野宿発見隊のこれまでの取り組みについて簡単な発表を行いました。

当日は小金井市の公民館、世田谷区の美術館、そして日野の図書館からそれぞれの活動報告となりましたが、図書館によるわれわれの取り組みは大変めずらしかったようです。

後日、この報告を受け、北海道の大学生（修士課程）が論文作成のため、わざわざ図書館まで訪ねてくれました。

『たまら・び』81 号に日野宿発見隊が登場

10 月 1 日発売の『たまら・び』81 号に、「まちを歩いて、まちを知る 日野宿発見隊の活動」として、日野宿発見隊が加地代表の写真とともに紹介されました。



同じく、「日野の人」のコーナーで、日野宿発見隊の強力なメンバー、井上カメラマン、滝本前代表、鈴木藤隆さんも登場。またギャラリー&カフェ大屋も日野建築遺産のひとつとして紹介されています。

いずれも、市民記者の皆さんが取材しまとめられたものです。

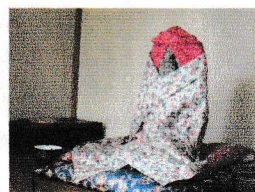
日野を知る一味違った情報誌となっています。

日野駅周辺見どころツアー-地蔵・石仏コース-

- 日野宿発見隊協力 - (第 53 弾)

10 月 6 日（日）、午前 9 時 30 分から、昨年に引き続き、国体開催関連事業で日野駅周辺の地蔵・石仏を訪ねるまち歩き会を開催しました。

主催は日野の見どころガイド実行委員会ですが、日野宿発見隊の加地代表が案内人を引き受け、日



宝泉寺の持ち上げ地蔵

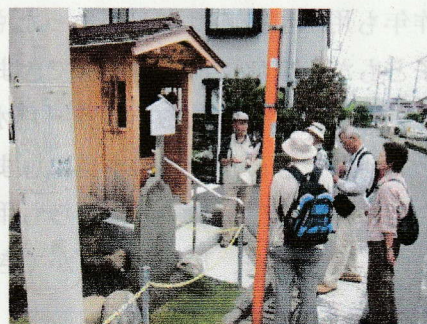
野宿発見隊の支援のもと開催されたものです。

参加者はスタッフ込みで10名とちょうどまち歩き会にはほどよい人数でした。

なお、同時開催の別のツアーに参加した子どもたち4人にも市制50周年記念日野宿こども発見隊特製缶バッジを進呈しました。



米倉さん宅前のお地蔵さん



北原のとながらし地蔵尊

天気にも恵まれ、12時ちょっとすぎに、無事ふれあいホールに到着。

お土産に、絵本『ひのっ子日野宿発見』と、特製缶バッジを受け取った後、この日開催中のボクシングやホッケーの試合を観戦してお開きとなりました。

それにしてもプレ大会からあつという間の1年でした。

これからも日野の新たな魅力を発信していきたいものです。

一中道徳授業公開講座に講師派遣（番外編）

10月12日（土）、日野一中道徳授業公開講座に日野宿発見隊から9名講師として出席しました。

3年生5クラスに、以下のメンバーで訪問しました。（敬称省略）

1組：河野喜映・安西清 2組：曾我眞一・吉平功（今回初参加）

3組：猪鼻洋助・小池亮一 4組：井上博司・森山研一 5組：谷享司

下の写真は、4組の生徒の用水清掃の様子です。全員体操着姿で、手には軍手をはめて、水のなかに入って清掃に取り組みました。



今回の清掃には、森山さんのほか、同級生の溝呂木さんや森山さんの息子さん、さらに市役所の緑と清流化課の原さんも応援に駆けつけてくれました。

昨年も用水清掃のはなしがあったものの、結局実現にはいたりませんでした。今回漸く子どもたち自身による清掃ができました。

学校内を用水が流れるという「用水のまち日野」を象徴するような環境を、教育の資源として活用できるわけで、本当に恵まれていると思います。

今回の体験を生かし、かれからも用水を大切にしていって欲しいものです。

また、近い将来、ビオトープができることを願わずにはられません。

道徳授業のあと、前日野一小校長の小杉先生の講演「市制五十周年と日野の学校 日野の発展を通して」がありました。先生は、七小、東光寺小、一小と、この地区で長年教鞭をとられてきただけに、とても内容のあるものでした。

日野宿発見隊の活動を通して先生の人柄を知るものとして、「教育は人なり」という言葉がありますが、小杉先生はまさしくこの言葉を具現化なさっている先生そのものではないかと思います。



森町消防器具置場の壁面がミニギャラリーに

11月6日（水）、森町消防器具置場（日野本町四丁目）の壁面写真を「八坂の祭り」の写真から「日野停車場、日野駅」関係の写真に入れ替えました。

日野駅開業120周年記念事業の一環で平成22(2010)年1月に展示した写真の中から、昭和初期から昭和50年代までの15点を展示しました。この壁面がミニギャラリーとして皆さんに楽しんでいただけるのではないのでしょうか。



「日野停車場、日野駅」関係の展示



絵本『ひのっ子日野宿発見』原画展（第54弾）

独立行政法人国立青少年教育振興機構による
「平成22年度地域ぐるみの子ども読書活動推進事業」の委託を受け、地域の小学校、中学校、PTA、商店会など多くの方々のご協力をえて、平成23(2011)年1月に刊行した絵本『ひのっ子日野宿発見』の原画展を開催しました。



会場の日野宿交流館1階通路脇壁面に、絵本の原画25点を展示しました。

また、絵を描いてくれた広田美穂さんがそれぞれの絵をどのような思いで描いたかをエピソード風にまとめていただいたものもいっしょに展示しました。

この展示をご覧になった観光客の方から、絵本が欲しいと早速声をかけられましたが、残念ながら販売していないため、多摩地域の図書館には寄贈してあるので、地元の図書館で借りていただきたいとお伝えするしかありませんでした。



絵本『ひのっ子日野宿発見』を歩く（第55弾）

11月30日（土）午前9時より正午までの約3時間、絵本『ひのっ子日野宿発見』に取り上げられた日野宿の見どころを訪ねました。

今回は中央線の東側、日野駅を出発し坂下地蔵、宝泉寺、八坂神社、渡邊家、本陣、そして宿の東端、有山家まで辿りました。

参加者 11名（内子ども1名） スタッフ 7名 計 18名

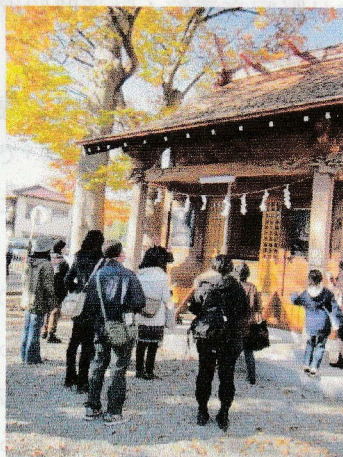
案内人 北村澄江さん 加地代表



前回は、日野駅から多摩川鉄橋、日野宮神社、東光寺薬師など中央線の西側方面でしたが、今回は中央線の東側、日野宿内を巡りました。

9時に日野駅に集合・点呼後、日野駅の解説を受け、漸く陽のあたる場所に移動。

まず坂下地蔵へ。加地代表から詳細な解説を受け、続いて宝泉寺の持ち上げ観音と閻魔堂を見学。ご住職から観音様のお札と由緒書きをいただきました。



八幡社前

次に、八坂神社へ。中には上がりませんが、外から拝殿内を見させていただきました。絵本にも取り上げたすばらしい彫刻を垣間見ることができました。合わせて今年修復なった隣の八幡社を見学。紅葉したケヤキを背景に社がとても映える素敵な写真も撮れました。

この後、金子橋のモニュメント、渡邊家の蔵を見学。本陣は冠木門近くで解説していただき、日野宿交流館では現在展示中の絵本の原画展と2階の日野宿展示を見学しました。

最後は今回ご当主のご厚意で有山董家の上段の間を特別に見せていただきました。私にとって三度目の訪問でしたが、日本の公共図書館に大きな足跡を残された故有山崧氏

のお宅をこうしてお訪ねできるのは大変光栄なことと感謝しております。
秋の彩りを深める庭園を前に優雅な気分を味わわせていただきました。



絵本『ひのっ子日野宿発見』に取り上げた見どころを 2 回にわたって訪ねたこの企画でしたが、最後に図書館にとって切っても切れない存在である有山家を皆さんに紹介できたのは、事務局としても喜ばしい限りです。

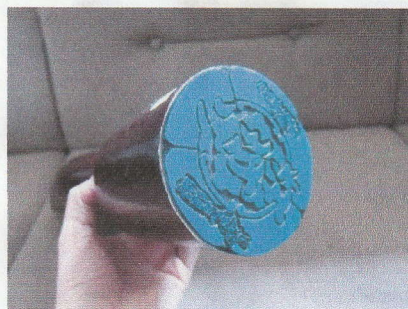
ご配慮いただきました有山家のご当主、奥様に心より御礼申し上げます。

屋号看板「池田屋（谷克二家）」と八坂神社の 特製大型判子が完成

仲町谷克二家の屋号「池田屋」が漸く完成しました。受注してからかなりお待たせしてしまいましたが、谷享司さんのデザインで、彫りは事務局が担当し、1ヶ月ほどで製作したものです。また、「うおーくらりー in 日野宿 2014」用の八坂神社の特製大型判子もめでたく完成しました。



池田屋（谷克二家）



八坂神社の特製大型判子

「国立の矢川・谷保方面を訪ねて」(第56弾)

3月24日(月)午前9時に日野図書館に集合・点呼ののち、国立の矢川・谷保方面に向けて出発。天気にも恵まれ日野図書館9時の出発時点で30名、途中で4名が合流し、計34名の大人数でのまち歩き会となりました。

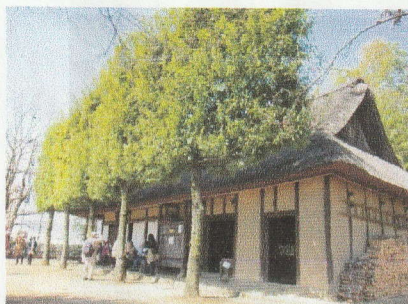
コース 日野図書館→立日橋→立川球場→貝殻木橋→ママ下湧水→
滝乃川学園(天使のピアノ)→国立市古民家→谷保天満宮→
やまもりカフェ(昼食)



滝乃川学園では日本最古の輸入ピアノを見学させていただくと同時に、演奏までさせていただきました。教会内に流れる美しい音色にしばし聴き入ってしまいました。



滝乃川学園からは「やぼろじ」の創設に携われた菅井さんの案内で、崖線沿いを進み、国立市古民家、谷保天満宮と見学した後、ゴールの「やぼろじ」に到着。



国立市古民家(旧柳沢家住宅)



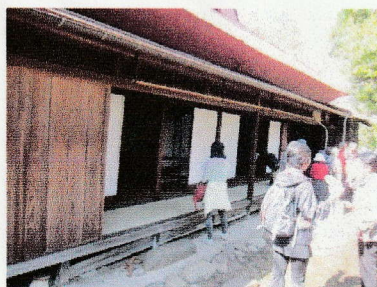
谷保天満宮 国産初のガソリン車
「タクリー号」の実働レプリカ



「やまもりカフェ」では総勢 30 名が室内と室外にわかれて、おいしい自然食のお昼ご飯に舌鼓。



特別に開門していただきました



主屋の東側には近藤勇が宿泊した
という部屋が目の前に



室内に展示されている篆刻の数々

昼食後、菅井さんのご紹介で、本田家の旧主屋を特別に見学させていただくことに。本田家ご当主とお嬢さんの伊藤さんのお二人にご案内いただきました。部屋にはあがれませんでした。外からではありましたが近藤勇が宿泊した部屋が身近に見られなんて！と感動されていた新選組ファンの女性たちが印象的でした。時空を超えたような束の間の体験に喜びをかみしめながら参加者一同帰宅の途につきました。

事務局は現地解散後、南武線で谷保駅から立川駅、その後中央線に乗り換えて日野駅に。図書館には 2 時半ごろ無事到着しました。約 17,000 歩のウォーキングとなりました。

日野宿から離れての初めてのまち歩き会でしたが、私たちと同様に地域に伝わる文化や自然を大切に守っていこうとする人々の存在を改めて知るよい機会となりました。